別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	（法人にあっては名称） 株式会社新来島サノヤス造船	住所	（法人にあっては主たる事業所の所在地） 〒 711-8588 岡山県倉敷市児島塩生2767番地21
本票作成	部署名：造修本部　生産推進室　設備管理課		
主たる業種	分類コード 31	業種名：輸送用機械器具製造業	
事業の概要	船舶製造・修理業・タンク事業		

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	水島製造所	倉敷市児島塩生2767番地21

特定事業者の該当要件	☑ ①燃料等原油換算1,500kℓ以上　☐ ②ﾊﾞｽ・ﾄﾗｯｸ100台、ﾀｸｼｰ250台以上　☐ ③CO_2換算3,000t以上 （●工場等の数　1　所　●車両台数（②該当の場合）　台）

温室効果ガス排出量	基準年度（令和　元　年度）	（令和　5　）年度排出量	目標年度（令和　6　年度）
	8,593 t CO_2	8,260 t CO_2	8,163 t CO_2

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	（令和　5　）年度排出量
	①	水島製造所	8,260 t CO_2
			t CO_2
			t CO_2
			t CO_2
			t CO_2
			t CO_2

削減目標の達成状況	計画期間：　令和　2　年度　～　令和　6　年度　（　5　箇年度）			
	☐ 総排出量基準	（　5　）年度削減実績	目標削減率	目標達成
	☑ 原単位基準	10.5　%	5.0　%	☑ 達成　☐ 未達

（原単位基準の削減目標を選択している場合に記入）	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量 基準年度	（　5　）年度	目標年度
	操業時数	4.680 t CO_2/（1000h）	4.187 t CO_2/（1000h）	4.446 t CO_2/（1000h）

（該当事業者のみ記入）

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値（令和　5　年度）	達成率等

【削減状況の自己評価】

省エネ法の管理基準に基づき、エネルギー使用状況を把握しながら、省エネ対策に取り組んだ。
構内照明設備のLED化や省エネ機器への更新でCO2排出量削減に努めているが、船舶修繕やタンク事業が増大しており排出量は前年度より増加した。結果としては、工場全体で操業時数も増加し、削減目標としている原単位当たりの排出量は削減する事が出来た。
今後も、計画した措置を確実に実施するとともに、追加の削減対策として非化石エネルギーの導入を検討している。

【推進体制】

・省エネ委員会を設置し、部署ごとのエネルギー使用量や原単位の変動を分析しエネルギー使用状況を確認している。又、毎月省エネパトロールを実施し、無駄なエネルギーの削減に努めている。 ・ISO14001に基づく環境管理体制の下、CO2削減に取組んでいる。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島製造所	（令和５年度実施分） 構内水銀灯220灯のLED化（CO2削減量76t/年） 構内蛍光灯300灯のLED化（CO2削減量14t/年） （今後実施予定分） 内業工場の天井照明200灯のLED化（CO2削減量70t/年見込み） 屋外投光器144灯のLED化（CO2削減量50t/年見込み） 塗装工場の天井照明90灯のLED化（CO2削減量30t/年見込み） 構内エネルギー集中管理システム導入 動力源バルブの電動化 太陽光発電設備の導入

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

・5月よりクールビズ導入 ・月2日程度の全休日を設定し使用エネルギー削減の取組み ・省エネ放送を毎日行い啓蒙活動の実施